

## 2021 年度 愛知県ボート協会事業報告書

### 【概況】

加盟団体各位、協会関係者の皆様におかれましては、新型コロナウイルス感染対策を講じつつ当協会の活動に取り組んでいただきましたことを、心より感謝申し上げます。

2021 年度、当協会主催の最大イベントである中日本レガッタを 2 年ぶりに開催できましたことは、関係者皆様のご理解とご協力のおかげです。新型コロナウイルスワクチン接種が進んだことや、東京 2020 オリンピックなどの国際的なイベントの開催により、以前の生活に戻る道筋がみえてきてはおりますが、引き続き、活動にあたって感染症対策を継続しながら「with コロナ」として、ニューノーマルな生活様式に柔軟に対処して活動を発展していく必要があると考えています。

各事業報告は、以下の通りです。

### 1. 大会開催事業（2021 年 4 月～2022 年 3 月）

開催日	大会名	主催	主管	会場
4/17～18	第 66 回中日本レガッタ（成年・中学）	●		愛知池漕艇場
4/24～25	第 66 回中日本レガッタ（高校）	●		
5/29～30	第 53 回中部学生選手権		●	
	第 3 回全国小学生レガッタ ※中日本レガッタ時 荒天中止のため延期開催	●		
10/9～10	第 15 回ジャパンオープンマスターズ 第 31 回マスターズレガッタ	●		
	第 15 回中部学生新人競漕大会		●	
10/16	第 2 回メンテック杯 ビーチスプリント大会	●		ラグーナビーチ(蒲郡)
10/31	第 1 回ジュニア競漕会	●		愛知池漕艇場
	第 15 回ジャパンレディースレガッタ		●	
1/15	インドアローイング大会	●	●	オンライン

#### 1) 第 66 回 中日本レガッタ

2 年ぶりの開催となったが、「まん延防止等重点措置」発令の影響で直前に 90 クルーの出漕取り止めが発生、例年の 4 分の 3 のクルー(計 276 クルー)の参加に留まったものの白熱したレースが繰り広げられた。感染拡大予防の対策として無観客試合、2 週分散開催(カテゴリー別)を始め、検温実施や愛知池の一般利用者との隔離を考慮した会場レイアウトなど実施。また、無観客試合のため応援に来られない方々のために YouTube でのレース動画配信や LINE 公式アカウントを開設し、組合せや、レース結果などをタイムリーに提供することで、掲示板周辺の 3 密対策含め好評を得た。

## 2) 第2回 メンテック杯 蒲郡ビーチスプリント大会

緊急事態宣言の発令により6月から10月に延期して開催、男子/女子/MIX/シニアの категорияおよびソロとダブル種目で計46クルーの参加によりレースが行われた。9月に開催された World Rowing Beach Sprint Finals の日本代表選手も多数参加し、ハイレベルな大会が繰り広げられた。今後は新型コロナウイルス対策による規制緩和を鑑みながら飲食やグッズ販売などイベント性の向上を目指す。

## 3) インドアローイング

これまでは、大きな会場に集まり、エルゴを並べて競い合うスタイルだったが、新型コロナウイルス対策規制の影響に加えて、技術進歩によるオンライン対戦が普及した。メリットとして全国あるいは世界中のライバルとレースできる点がある。全国に先駆け2022年1月にインドアローイング大会を主催し、県内の高校メインではあったが、鹿児島県からの参加もあり日本ボート協会発行の月刊 ROWING にも取り上げられ、今後更に発展させることで普及・強化の面でも有効なツールと認識した。

## 2. 普及事業 (2021年4月～2022年3月)

開催日	イベント名	会場
5/30	第3回全国小学生レガッタ	愛知池
10/31	第1回ジュニア競漕会	愛知池
3/26	愛知池ボート教室	愛知池
※	庄内川ボート体験会 (荒天延期) ※22年7月	庄内川

### 1) 全国小学生レガッタ

中日本レガッタ併催時は荒天によりレース中止となった。1か月後に愛知県国体予選と併催する形で延期開催した。新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり参加者自体は4クルーに留まったが参加団体からは、大会機会が少ない中で貴重なレース経験を積めたことに対し感謝の声を頂いた。

### 2) 第1回ジュニア競漕会

67クルーに参加頂いた。レース機会が少ない小中学生に競漕機会を提供によりボート競技普及のため裾野を広げる活動として継続していく。

### 3) 愛知池ボート教室・庄内川ボート体験会

庄内川ボート体験会は、強風のため参加者の安全を優先して延期とした。中川区含め延期日程を調整の結果、2022年7月開催で準備を継続中。愛知池ボート教室は参加者に対してボート体験機会を通じて将来ボートクラブへの入会希望増大も視野に継続する。

## 3. 強化事業 (2021年4月～2022年3月)

以下の通り、予選会を開催した。(高校関係は高体連との共催)

開催日	大会名	会場
5/22～23	第75回愛知県高校総合体育大会	愛知池
5/29～30	国体愛知県予選会 (成年・少年)	愛知池
10/9～10	愛知県高校新人体育大会	愛知池

#### 1) ジュニア育成

高校総体では福井インターハイ女子 1×で 4 位入賞を果たした。国体では男子 1×、2×が本戦出場権を獲得した。  
(三重国体中止) 全国高校選抜では、男子 4×+、女子 1×が出場権を獲得した。冬季間に定期的な 1,000m エルゴ測定および水上 6 km T・Tを通して競技力向上の機会提供と醸成。

#### 2) シニア選手の育成・強化支援

愛知県競技力向上対策事業を通して合宿費用補助を実施。加盟団体の実業団からワールドカップおよび世界選手権(中止)への選手派遣を果たした。国体では男子 4×+、2×、1×の全種目、女子 2×が出場権を獲得した。  
(三重国体中止)

#### 3) あいちトップアスリートアカデミー

2026 アジア大会に向けた愛知県の強化事業としてボート競技の育成プログラムを受託し、11 月と 12 月の 2 回実施。3 名の選手がボート競技を希望した為、県内各水域のクラブチームおよび名古屋市ボート協会と連携し、ボートトレーニングができる環境を提供。今後の課題として指導者確保および各水域間での指導内容共通化など愛知県ボート協会が主導して進める必要あり。

### 4. 審判事業

#### 1) 中部・東海ブロック内審判交流による連携強化

県内の審判を県外大会へ延べ 20 名派遣。県外の審判を中日本レガッタ中心に愛知県ボート協会主催大会へ延べ 25 名派遣いただいた。

#### 2) 審判員技能向上策

日本ボート協会主催の審判研修会(計 5 回)へ延べ 74 名が参加し競漕規則改定や技能向上を推進し、全国大会へ延べ 12 名を派遣した。また、東京 2020 オリンピック・パラリンピックへボランティア含めて延べ 11 名を派遣した。

#### 3) 新規審判員(C 級)増員

高校生や学連へ審判補助業務を通して審判業務へ興味を持ってもらう取り組みを実施。大幅な増員には至っておらず費用面の個人負担も一因として考えられるため支援策なども検討する。

### 5. その他事業

#### 1) アジアマスターズ

2022 年 10 月に愛知池で開催することでアジアボート連盟および日本ボート協会の承認を得た。

#### 2) 2026 アジア大会

アジア大会開催に向けて行政との連携(愛知県・愛西市など)およびプレテスト大会の検討に着手。

#### 3) 発艇・記録システム運営

全国高等学校総合体育大会(福井インターハイ)を受注し、ケイティデイ社と共同でシステム運営を無事に成功した。日本ボート協会への信号発艇機への貸出は、戸田ボートコースのスタート設備破損の影響により貸出要請なし。2022 年から海の森水上競技場へ会場変更となることもあり貸出コースは見込めない。

## 6. 事業報告の附属明細書

2021 年度事業報告書には「一般社団法人及び一般社団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 講に規定する附属明細書「事業報告を補足する重要な事項」が存在しないため、作成しない。